

いのち・とき・なかま

豊中五中
学校だより
H28(2016)
1,25 発行

阪神淡路大震災から21年

毎年この季節になると、震災の事が思い出されます。平成17(1995)年1月17日の阪神淡路大震災から、早いもので今年で21年になりました。6434人もの尊い命が奪われ、この豊中市も大阪府下最大の被害を出しています。各地の慰霊祭では、震災当時の様子やこれまでの歩み、そして現在を振り返り、祈りがささげられていました。



震災を経験された保護者や地域の方もおられると思います。五中職員の中にも経験者がいます。小学校時代に神戸で被災した者、職場の体育館が大阪府で最大の避難所になった者、ボランティア活動をした者等。生徒の皆さんの生まれる前ですが、改めて命の尊さや、様々な教訓を学び取る機会にしたいと思います。

私たちは、家があり、電気・ガス・水道がきて、学校で勉強やクラブ活動ができるのは「あたり前」だと思っていますが、必ずしもそうとは限りません。まもなく5年となる東日本大震災のこともあわせ、「いのち・とき・なかま」を大切にすることを、改めて心に刻みたいと思いました。

1年生 喫煙・薬物乱用 防止教室



1年生は、豊中警察署から講師の方を招き、たばこや薬物の害についてお話を聞きました。喫煙や危険ドラッグが他の犯罪や事件につながることや、心身をむしばみ、命まで奪ってしまうこと、ネットで売買される怖さ、SNSを使った犯罪の現状についても話がありました。また、婦人警官でもある講師の方から、将来、警察の仕事に興味を持ってくれる人が少しでもいてくれたら嬉しい、との言葉もありました。皆、落ち着いて、しっかりと話を聞くことができていました。

1年生は、2学期の目標にしていたチャイム着席がだいたい定着してきたので、次の目標として『朝読書の時間を静かに落ち着いて過ごそう』をかかげ、「みんなで・毎日・静かに」読むことを意識して取り組んでいます。この調子で授業を充実させていきましょう。

2年生 学ぶことの意味を考える

～豊中四中 夜間学級との交流～

2年生では、2学期に職業体験を行って、働くことの意味や苦勞、喜びなどについて学習しましたが、3学期は、これから自分の進路を考えていく準備の一つとして、「学ぶことの意味」を改めて考えています。そのために、「中学校の夜間学級」と交流を進めているところです。事前学習ではビデオを使い、夜間中学校とは何か、(全国にわずか31校、大阪に11校しかありません)なぜできたか等を学び、19日には、実際に豊中市立第四中学校夜間学級の生徒さんと先生(以前五中にいた釣巻先生です)に来ていただき、「学ぶよろこび」と題して、お話を伺いました。



生徒さん(82歳の女性)は、家庭の事情で小学校5年のとき一人ぼっちとなり、親せきに預けられ、働きに出ました。その後、結婚し家族ができたが、生活に追われ、学びたいという望みを果たせず、50年という年月が過ぎていきました。

豊中に夜間中学があることを知り、勇気を出して四中まで来て、5年前、77歳で入学。「夢のようで、その喜びは死ぬまで忘れません。毎日往復2時間かけて通学し、帰宅が夜中になっても、病気がわかって、楽しく勉強できることが幸せです。こんな楽しい学校、もっと若くして通いたかった。」と話されていました。

アルファベットから学び直したり、数学のイコールが=のこととわかり、少し方程式も解けるようになってきたこと。自分で一生懸命覚えたことを忘れることが許せないの、習ったプリントの整理をしたり、ノートを買って、毎日1ページずつ復習しているなど、文字通り、「学ぶことができる喜び」について、思いを語っていただきました。2年生にとって、大変有意義な聞き取りになりました。



百人一首大会

22日(金)には体育館で、百人一首大会を行いました。読み手の先生の声聞き、16グループに分かれて札の取り合いをしました。国語で学んだことを思い起こし、上の句を聞いて即、反応できる歌や、なかなか見つからない歌など、和気あいあい、この季節らしいひと時をすごしました。

3年生がんばっています ～学年末テスト・私学出願～

3年生は、他学年より早く、今週学年末テストです。私立高校を受ける人は受験校が決まり、志願書を清書しました。27日(水)には出願の予定です。自分のプロフィールをまとめ、面接に備えた練習も行なわれます。進路を見据えて、みんな一生懸命学習しています。厳しい寒さが続いています、健康に留意して、はげましあっていきましょう。